

# 行動問題支援教師トレーニングの効果

-支援計画作成スキルに関する2種類のトレーニングプログラムの比較-

○加藤 慎吾

小笠原 恵

(東京学芸大学教育学部)

(東京学芸大学教育学部)

KEY WORDS: 教師トレーニング 行動問題

**(目的)** 加藤・小笠原(2016)は、知的障害特別支援学校の教師を対象に行動問題支援に関するトレーニングを実施し、参加者が挙げた対象児童生徒の行動変容に関して検討を行った。その結果、(1)支援経過に合わせた研修プログラムの実施、(2)PDCA サイクルを複数回繰り返すことが児童生徒の好ましい行動変容に必要な条件であることを示唆した。本稿では支援計画作成スキルに関して、2種類のトレーニングプログラムの効果を比較することを目的とする。

**(方法)** トレーニングプログラム：短期集中型と中長期分散型の2種類のプログラムであった。

(1)目的：どちらのプログラムも応用行動分析学を主とした行動問題支援に必要な知識と技術を参加者が習得することを目的とした。(2)期間：1回につき2時間、全6回のプログラムであった。全6回のプログラム終了後、3カ月をフォローアップ期間とした。短期集中型は、基本的に週に1回行われた。中長期分散型は、第1回から第3回までを週に1回行った。その後は、2から3週間あけて実施した。(3)講師：応用行動分析学を専門とする大学教員1名と大学院博士課程に在籍する大学院生1名。(4)構成：2時間のうち、前半の1時間を講義、後半の1時間を演習とした。演習では、行動問題のある児童生徒を事例に挙げ、機能的アセスメントの実施、支援計画の作成、実行、評価、修正を行った。短期集中型では支援計画の立案までの過程に重点を置いて、第5回までを費やした。中長期分散型では、支援計画の評価と修正に重点を置いて、第3回までに支援計画を立案し、その後支援計画を実行した。図1にプログラムの実施時期を示した。

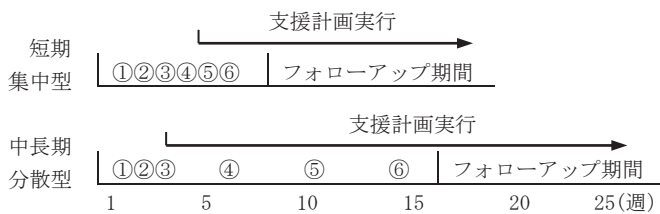


図1 トレーニングプログラムの実施時期と実施期間

**参加者：**知的障害特別支援学校の教師。短期集中型に17名、中長期分散型に4名参加した。

**倫理的配慮：**全ての参加者に口頭と書面で研究の趣旨を説明し、得られたデータの公表について同意を得た。

**支援計画作成スキル：**行動問題を示す架空事例に関して支援計画を立案する演習を行った。参加者は、架空事例に対して、有効と思われる支援方略をできるだけ多く記述するよう指示された。大久保ら(2015)に則り、4名の評価者が独立して評価を行った。評価項目を、表1に示した。それぞれの評価項目に対して、「そう思う」「そう思わない」「どちらともいえない」の中から1つを選択するものであった。「そう思う」と評価した評価項目ごとに1点を与え合計得点を算出した。合計得点を総評価項目数で除し、100を乗じ、4名の評価者の平均を求めることにより算出した。

**(結果と考察)** 参加者の多くの支援方略の質が向上したが、短期、中長期ともにトレーニング後に支援方略の質が低下した者がおり、結果は一定ではなかった(図2、3)。評価項目ごとにもみると、短期では8項目中4項目の質が向上し

たが、中長期では「文脈への配慮」以外の7項目が向上している(図4、5)。架空事例を用いたために、文脈的な事柄に配慮が及ばなかったのか、研修プログラムが文脈への配慮に関して不十分であった可能性がある。

表1 支援方略の質を評価する評価項目

評価項目
問題となる行動が起こりにくい予防的な方略が含まれている(予防)
問題となる行動に対して消去する方略が含まれている(消去)
代替行動を促進するための表略が含まれている(代替行動)
望ましい行動を促進するための方略が含まれている(望ましい行動)
文脈への配慮に言及している(文脈への配慮)
般化を促進するための方略が含まれている(般化の促進)
維持を促進するための方略が含まれている(維持の促進)
嫌悪的な方略が含まれていない(嫌悪的でない)

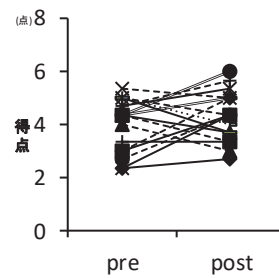


図2 各参加者の支援方略の質の評価の変化(短期)

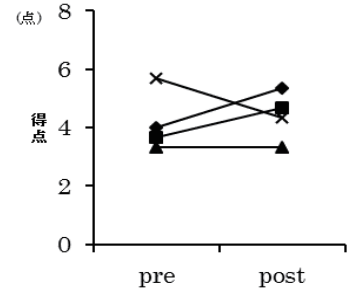


図4 各参加者の支援方略の質の評価の変化(中長期)

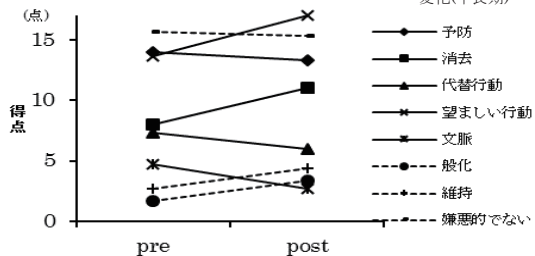


図3 評価項目ごとの支援方略の質の評価の変化(短期)

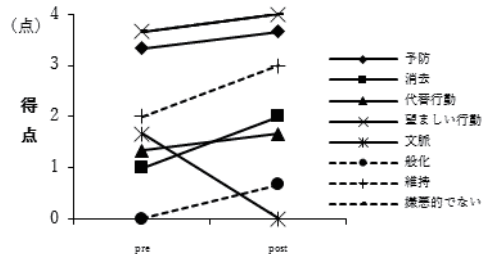


図5 評価項目ごとの支援方略の質の評価の変化(中長期)

**(文献)** ●加藤慎吾・小笠原恵(2016) 行動問題支援教師トレーニングの効果-短期集中型と中長期分散型のトレーニングプログラムの比較。日本行動分析学会年次大会プログラム発表論文集, 33, pp.118 ●大久保賢一・井口貴道・石塚誠之(2015) 機能的アセスメントの実施を標的とした研修プログラムの効果: 参加者が行う「情報収集」と「支援計画の立案」における変容の分析。行動分析学研究, 29(2), 68-85. (KATO Shingo, OGASAHARA Kei)